

【1】法経文同窓会が会報を創刊

8月22日、法経文同窓会の全国理事会で「法経文同窓会会報」の創刊が了承され、近々、全会員あてに順次発送されることになりました。創刊号は8ページ建てで、加藤会長のあいさつ、同窓会活動報告、各支部からの報告のほか、中村信一学長の「法経文同窓会会報の創刊に寄せて」と題する祝辞及び金沢大学の動きが掲載されています。続いて2年ぶりに開催の全国総会にも会報の創刊が報告され、医学部十全同窓会、薬学同窓会、保健学科つるま同窓会に続く本格的な会報の創刊により、「会報の発行のたびに大学の現況を伝える広報誌などを同封していただくことが可能となり、大学としては大変ありがたく、また喜びも格別」（学長）とのあいさつも寄せられました。

【2】角帽・襟章・金ボタンの復活を！ 卒業生からの要望

法学部卒業生の菅原純氏から、角帽・襟章・金ボタンの復活を求める活動への支援の要望がありました。同窓会活動の活性化に資する提案でもありと思われるので、以下に紹介します。お心あたりの方は学友支援室まで御連絡願います。

私は金沢大学法学部の卒業生で菅原と申します。89年入学（泉学寮生）95年卒業です。文芸連の児童文学会と体育会アイスホッケー部に所属しておりました。私は金沢大学にかつて存在した「学生文化」の復活・継承を図るため、このたび「ご案内」並びに「お願い」を申し上げる次第です。皆様のご助力を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

【ご案内】

金沢大学生協同組合様に対して、かつて販売されていた「金沢大学の角帽・学生服の襟章と金ボタン」の取扱い復活を求める活動を致しております。

【趣旨】

全国的に学生文化の変遷は激しく、金沢大学に於いても例えば旧制時代からの寮歌などといった伝統的学生文化も、その継承が途絶の危機に瀕する課題です。私は、学生独特の文化の保存と継承に関心を持っておりまして、特に母校の金沢大学を中心に活動して参りたく思っております。その一つと致しまして、今回「金沢大学の角帽・学生服の襟章と金ボタン」を金沢大学生協同組合で販売復活してもらおう要望を、金沢大学生協同組合専務様にご相談致しました。

一個人の想いで始めました今回の運動には、金沢大学生協同組合専務様もご理解を下さいまして、かつての仕様書や製業者など調査して頂きましたが、全く資料が残っていない状態です。

【お願い2点】

- ① 「金沢大学の角帽・学生服の襟章と金ボタン」の現物を保管しておられる方を探しております。若し、お手元にお持ちの方が居られましたら、製造仕様を確認するために学生時代に着用しておられた角帽・襟章・金ボタンの現物を拝借出来ませんか。
- ② 金沢大学生協同組合によりますと、販売復活（成れば約45年振りとなります）の実現には金沢大学卒業生からの要望の声が大きな推進力となる、との事です。金沢大学ご卒業の皆様からもご賛同のお声また情報などは是非ともお寄せ頂きたく、お願い申し上げます。



(経済5期生)

【3】東京、大阪で同窓会合同講演会・懇親会

○東京地区同窓会合同講演会・懇親会 9月26日(土) 15:00~18:00

[会場] 東海大学校友会館(霞が関ビル35階), [会費] 1万円, [申込・問合せ] 田中 亨金沢工業会東京支部長へメールで (tanaka.akirat@aomi-const.jp)

○関西地区同窓会合同講演会・懇親会 10月3日(土) 17:15~20:30

[会場] 大阪新阪急ホテル2階(阪急梅田駅前), [会費] 1万円, [申込・問合せ] 法経文同窓会関西支部事務局へメールで (jimu-k@irokawa.gr.jp)

○各地域・職場・サークルOB会・寮等の同窓会の開催日程をお知らせ願います。大学側から役員等が積極的に参加しますので、ぜひ御招待ください。

★金沢大学キャンパスライフガイドブックができました。御子弟の進学にも役立ちます。一度検索を！

http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/life_guide/index.html

米国ボストンに同窓会の「支部」が結成された連絡がありました。米国東部に在住又は勤務中の卒業生を御紹介ください。御連絡は、ボストン支部幹事岩田恭宜氏(医卒) (Juzen.Boston@gmail.com) 又は学友支援室まで